令和5年度障がい福祉分野の ICT導入モデル事業 事例報告

〈法人名〉株式会社ラファライフ
〈事業所名〉ほわいとまっぷ

事業所概要

サービス種別 (複数ある場合は主たるサービス)	計画相談支援
所在地	大阪府大阪市西成区中開二丁目5-1
職員数 ()内は常勤換算数	3人 (常勤換算1.8人)
事業所の特徴	利用者に寄り添いきめ細かい相談援助を心がけております。

I C T 導入の背景・目的

➤ 導入前の状況

- 導入しているソフトウェアがなく各種記録業務、情報共有業務、請求業務などの各種業務をexcelやwordを用いて各ファイル作成での自社管理となっている為、一気通貫ができていない。
- また、請求業務に関しても同様に自社管理である為、顧客管理や請求時の確認作業などに著しく時間がかかっており、作業ミスリスクが高まっている状況である。
- 利用者訪問時等の外出先での記録業務や確認業務ができず、事務所に戻り記録の入力等をする必要がある為、作業効率が悪い。

➤ 導入の目的

- 作業の迅速化に係る取組（現場や外出先での入力支援、支援記録の作成など）
- 情報の共有化に係る取組（職員間の情報の伝達や共有を改善する為）

導入機器

➤ 導入する I C T の検討

- 業務支援ソフトウェアの数社見積説明を受け、外出先での記録可能な情報端末機器の購入検討及び通信環境の設定検討を行いました。

➤ 導入した I C T

- 業務支援ソフトウェア
- 情報端末（タブレット）
- 情報端末付属品（マウス、キーボード）

ICT導入の実施体制の整備

➤ 職場内の研修

- 導入計画の策定と目標設定を行い、プロジェクトの全体像を明確にした。次に、スタッフに対する個人情報取り扱い、ICTリテラシーの向上を図るための教育プログラムを実施。また、リスク管理の手法を学び、トラブル発生時の対応力を高めるようにしました。

➤ 関係者（利用者・家族等）への説明等

- 訪問時に機器を取り扱う為、訪問した際に利用者、ご家族へご説明し情報機器の円滑な導入ができるようご説明しました。

効果検証

	導入前（時間）	導入後（時間）	削減率（%）
記録業務			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画案作成 ・ モニタリング案作成 ・ 業務日誌 	①計画案作成 4時間 ②モニタ案作成 1時間 ③業務日誌 1時間	①計画案作成 1時間 ②案作成 0.5時間 ③業務日誌0.5時間	66.67% (従事者1名あたり)
報酬請求業務			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画案作成 ・ モニタリング案作成 ・ 業務日誌 	①計画案作成 5分 ②モニタ案作成 5分 ③業務日誌 10分	①計画案作成 1分 ②案作成 1分 ③業務日誌 5分	65.00% (従事者1名あたり)

- ソフト導入後、記録業務や請求業務では以前作成したものが記録であればボタン一つで反映され、1から作成しなくても一部変更で作成できたり、例文を登録することですぐ文を作成できることから各業務大幅な時間削減ができました。